

5. 病原体検査検出結果

(1) ウイルス検査結果

【インフルエンザ】

インフルエンザウイルスは、1月はAH1pdm09型19件、2月はAH1pdm09型7件、B型（Victoria系統）1件が検出された。

翌シーズンに当たる10月以降の検出は見られなかった。

年間を通してはAH1pdm09型26件、B型（Victoria系統）1件の計27件が検出された。

2019-2020年シーズンは、2つの型（AH1pdm09型、B型（Victoria系統））が検出された。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
AH1pdm09型	19	7											26
AH3型													
B型（Victoria系統）		1											1
B型（山形系統）													

【RSウイルス感染症】

RSウイルス感染症の患者検体から、RSウイルスが1件検出された。

【感染性胃腸炎】

感染性胃腸炎の患者検体より、ライノウイルスが1件検出された。

【ヘルパンギーナ】

ヘルパンギーナの患者検体より、ヒトパレコウイルス1型とサイトメガロウイルスが1件ずつ検出された。

【流行性耳下腺炎】

流行性耳下腺炎の患者検体から、エコーウイルス9型が2件検出された。

【無菌性髄膜炎】

無菌性髄膜炎の患者検体から、ライノウイルスが1件、エコーウイルス30型とヒトパレコウイルス1型が2件ずつ検出された。

【その他】

その他の様々な疾患の患者検体からは、ライノウイルスが7件と最も多く検出され、次いでヒトメタニューモウイルスが3件、サイトメガロウイルスが2件、AH1pdm09型、RSウイルス、エコーウイルス9型、アデノウイルス6型、単純ヘルペスウイルスがそれぞれ1件ずつ検出された。

(2) 細菌検査結果

【腸管出血性大腸菌感染症】

県内で腸管出血性大腸菌感染症として届出があった場合、分離菌株の確認検査（生化学的性状、O 抗原、H 抗原の血清型別、毒素型別）及びパルスフィールド電気泳動による遺伝子型別を実施し、散在的集団発生（diffuse outbreak）の探知に努めている。また、国立感染症研究所では、Multiple-locus variable-number tandem repeat analysis（MLVA）法による遺伝子型別をもとにデータベースを構築しており、分離菌株を送付し、全国における広域食品由来感染症の迅速な探知に努めている。

本年は、届出があった 17 件の菌株について検査したところ、分離株の血清型は表のとおりであった。

腸管出血性大腸菌の MLVA による解析結果

診断月	保健所名	血清型 (O)	血清型 (H)	VT 型別	MLVA type ¹⁾	疫学情報など
2 月	徳島	157	7	VT1,2	20m0013	患者①
6 月	徳島	121	19	VT2	18m5007	患者②
6 月	徳島	156	-	VT1	対象外	患者③
8 月	徳島	157	7	VT1,2	20m0184	患者④
8 月	徳島	157	7	VT1,2	18m0297	患者⑤
8 月	徳島	157	7	VT1,2	18m0297	患者⑤の接触者
8 月	徳島	157	7	VT1,2	18m0297	患者⑤の接触者
8 月	徳島	157	7	VT1,2	20m0234	患者⑥
8 月	徳島	157	7	VT1,2	20m0233	患者⑦
8 月	吉野川	157	7	VT1,2	17m0160	患者⑧
9 月	徳島	157	7	VT1,2	20m0233	患者⑨
9 月	徳島	157	7	VT1,2	17m0160	患者⑩
10 月	徳島	157	7	VT1,2	20m0348	患者⑪
10 月	徳島	157	7	VT1,2	20m0169	患者⑫
10 月	徳島	157	7	VT1,2	20m0169	患者⑫の接触者
10 月	徳島	111	-/g8	VT1	20m3039	患者⑬
10 月	吉野川	157	7	VT1,2	17m0160	患者⑭

¹⁾ 国立感染症研究所により 17 種類の遺伝子座のリピート数で決定。番号が近いものが必ずしも似ているとは限らない。

県内における菌株の比較では、患者とその接触者から得られた菌株は、同じ MLVA タイプに分類されたものが 2 件。患者と接触者は、友人や家族で共通食を喫食していた。

また、他の都道府県と比較した結果同じ MLVA タイプに分類されたものが 4 件あった。